

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 一般国道487号 道路災害防除事業（早瀬大橋耐震補強）に伴う仮設道路修正設計及び用地測量業務委託

事業名 または 工事名 一般国道487号 道路災害防除事業（早瀬大橋耐震補強）

調査目的及び調査対象 道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	BorNo. 2	調査位置	広島県呉市音戸町早瀬一丁目	北緯	34° 09' 20.8097"
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	2020年 12月 15日 ~ 2020年 12月 18日	東経	132° 29' 39.0578"
調査業者名	株式会社セトウチ 電話 0846-29-1720	主任技師	藤原 泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号	現場代理人	藤原 泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号
コア鑑定者	藤原 泰介 地質調査技士 登録番号: 第14525号	ボーリング責任者	向井 忠司 地質調査技士 登録番号: 第15354号		
孔口標高	T. P. 11.84m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総削孔長	14.00m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 YBM YSO-01 エンジン クボタ EA10
		ポンプ	YBM SP-40		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取	室原位置試験	削孔月日							
												深度 - N値図								深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試料番号
1			●●●●●●●●●●	礫混り砂 (盛土)		暗褐				深度0.1mまで植物根が多く混入する。 深度0.4mにt=4cmの碎石挟む。 深度0.4~0.9mの間は細粒分やや多く混じる。 深度1m以深はマサ土主体で、φ15mm程度までの礫混入する。	12/16 5.00	9	1.15	3	3	3	9	300								
2												2	2.15	1	1	2	300									
3	8.24	3.60										9	3.15	3	3	3	9	300								
4												18	4.15	6	6	6	18	300								
5												14	5.15	4	5	5	14	300								
6												16	6.15	5	5	6	16	300								
7				風化花崗岩		淡黄灰				深度3.6~4.5mは、主に礫状~岩片状コアで、やや硬質。 深度4.5m以深は、原岩組織を残すも脆弱で、指圧で容易に割れ土砂状になる。 風化進行しており、石英が変質している。		19	7.15	5	7	7	19	300								
8												21	8.15	6	6	9	21	300								
9												32	9.15	9	11	12	32	300								
10												37	10.15	9	13	15	37	300								
11												48	11.15	11	16	21	48	300								
12	-0.16	12.00										63	12.15	15	22	13	50	240	240							
13				風化花崗岩		淡黄灰				風化しているが、岩組織を明瞭に残す。 一部でコアの外周が認められ、ハンマー軽打では濁音を発する。 指圧で砕くのは難しい。		65	13.15	19	24	7	50	230	230							
14	-2.16	14.00										88	14.15	24	26	50	170	170								